



くら た かん じ
倉田 寛次



しみん
市民クラブ

いつになったら適正な入札が行われるのか

問 G I G Aスクール構想により、小・中学校に1人1台の学習端末が、今後、整備されていく中で、教育委員会におけるパソコンに関わる入札については、以前にも指摘したが、特定の2業者ばかりが落札するなど、疑義を感じる事が多く、また、それが一向に改善されない。

公正公平な入札にすべきであり、疑義を感じられるようでは、いかがなものかと思うが。

各部局の支援を得ながら入札を進めていく

答 教育委員会のパソコンに関わる入札において、議員が指摘する疑義については、深く捉えており、疑念を持たれないよう、公正性や競争性を十分に担保した仕様書にする必要があったと考えている。

前回の議会においても、議員から、いろいろな指摘を受けている中で、今後、パソコンに関わる入札については、仕様書の作成や端末のOSの選定においては情報企画課、また、入札に至るまでの準備等においては調達契約課の協力を求めるなど、教育委員会内だけで処理するのではなく、庁内の各部局の支援を得ながら、入札業務を進めていく。

●その他の質疑・質問●

○リサイクルセンターについて
●現在、リサイクルセンターから新最終処分場に搬入されている不燃残渣ざんさの中に、針金等の長尺さかものが混入していることについて改善を



▲教育委員会のパソコン入札に公平性・競争性の確保を



す くり ひで あき
村主 英明



しみん
市民クラブ

学校施設は適切な診断と対策で長寿命化を

問 学校施設の長寿命化は、人間の健康診断・治療・健康維持と共通する発想で取り組むべき。

構造躯体くたいとそれ以外に分けて劣化状況を適切に評価した上で、事後保全より予防保全を重視することが重要。また、給排水管等の設備は躯体より耐用年数が短いことや、省エネ等への要求水準の高まり、学校施設の在り方等も考慮し専門的知見を踏まえて長寿命化計画を策定すべき。

必要な改修等は確認し適切に行っていく

答 文部科学省から出された学校施設の長寿命化計画策定に関する手引きや解説書等を勘案し、津市の新たな長寿命化改修に係る基本方針を策定した。

給排水管に不具合が発生した場合は、その都度修繕しており、全面改修が必要な場合があれば、その時点で計画を立て、適切な改修をしていく。

津市にはたくさんの学校施設があり、施設の在り方等を確認しながら、より多くの校舎棟について、スピード感を持って整備を行っていく。

●その他の質疑・質問●

○令和2年度予算新規事業から防犯カメラ設置補助事業、集会施設トイレ洋式化事業について
○監査結果で指摘した後の監査委員のフォローや、まだ措置が講じられていない指摘事項の議会等への報告や公表について
○高齢者等へのごみ出し支援について（地域の共助の可能性）
○橋梁等きょうりょうにおけるPCBを含む塗料に係る問題について など



▲学校施設は適切な診断と対策で長寿命化を